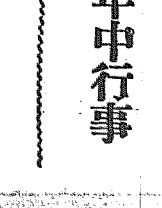


10



十四年十二月一日より册一日まで
各店にて金三圓以上お買上の方にお
金三圓毎に抽籤券一枚を配す

合 打

二百六拾本
二千三百五拾本
三千四百本

月

月

總發行所

十四年十二月一日より册一日まで
各店にて金三圓以上お買上の方にお
金三圓毎に抽籤券一枚を配す

(長手通龍頭山石壁下)

四	八	四
拾	拾	拾
本	本	本

二千三百五拾本
三千四百本
壹萬七千〇五拾本

時は期間中と雖も景品

月
絲合書出

山剛金景絶/下天

金剛飴

入膏ノ松

藥

第一十 決算公告

（前年度）大正十四年十月一日
（本年度）大正十四年十月一日

純正資本	100,000,000	金形金品	100,000,000
準備金	100,000,000	金形金品	100,000,000
利益剰余金	100,000,000	金形金品	100,000,000
負債	100,000,000	金形金品	100,000,000
合計	300,000,000	金形金品	300,000,000

釜山雜貨商組合
釜山雜貨商組合
釜山履物商組合

釜山雜貨商組合
釜山雜貨商組合
釜山履物商組合

釜山雜貨商組合
釜山雜貨商組合
釜山履物商組合

釜山吳服商組合
釜山雜貨商組合
釜山履物商組合

釜山吳服商組合
釜山雜貨商組合
釜山履物商組合

釜山吳服商組合
釜山雜貨商組合
釜山履物商組合

大賣山

一等 五拾圓 二拾本
二等 廿五圓 四拾本
三等 拾圓 八拾本
四等 五圓 二百六拾本
五等 一圓 二千三百五拾本
六等 五拾錢 三千四百本
七等 廿錢 壹萬七千〇五拾本
等外 五錢 殘り全減

一等 五拾圓 二拾本
二等 廿五圓 四拾本
三等 拾圓 八拾本
四等 五圓 二百六拾本
五等 一圓 二千三百五拾本
六等 五拾錢 三千四百本
七等 廿錢 壹萬七千〇五拾本
等外 五錢 殘り全減

一等 五拾圓 二拾本
二等 廿五圓 四拾本
三等 拾圓 八拾本
四等 五圓 二百六拾本
五等 一圓 二千三百五拾本
六等 五拾錢 三千四百本
七等 廿錢 壹萬七千〇五拾本
等外 五錢 殘り全減

した時にも、親戚の手前もある

[illegible][illegible]

<p>中央館</p> <p>演藝案內</p>	<p>外科 植村病院</p> <p>電話本局 一九二七 二七二二</p> <p>目丁二町樂永城京 車下前列渡品商又町樂永車電</p>	<p>院長醫學博士植村俊二</p> <p>石川八郎製</p>	<p>重</p> <p>代</p> <p>山縣海映</p>
------------------------	--	--------------------------------	-------------------------------

北 國 濟 濟
南 興 堂
九 龍 丸
精 製 淋 味 藥
理 店
京 城 安 店

銀行一艘ノ業務
支店及龍山支店
理事務取扱申候

同龍山支店
京城府元町二丁目龍山支店
八幡

院長 露土村上龍藏

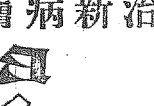
村上内小兒科病院

京城府永樂町丁目
正館本局 自來水 三六七番

電話 二〇〇八
電話 二〇〇八

英明

皮膚病新治療劑



佐藤	醫學博士	推 進
保山	醫學博士	
濱田	醫學博士	
神崎	醫學士	

消炎作用 奏効迅速、副作用なし

載なく、衣服を汚染せず、應用廣き故に各醫家に採用

濕癬。白癬。鱗癬。疥癬經過後の全身濕疹。汗
斑濕疹。頭部顔面の脂肪漏。皮膚硬化症等。

●東京 丹平商會藥房
●全國各藥店にあり

トフト

のいそがしさ

私は大變忙しい。御主人はヒゲそり後に
六興様はカクシ化粧に、若奥様はお化粧
下地に、お銀様は學校通ひの身だしなみ
に、朝から晩まで引つぱり厭の忙しさで
す。ことに冬分はアレ正々にお使ひにな
りますので、なほさらに忙しくなります。
然し私が忙しくなればなる程、皆様が美
しくおなりですから、私も大喜びでよく
働きます。

第一七九

味良く香好きが故に何方もお悦びです。從來の
 麴種の如な脂臭さや、苦味が絶對に無いのです。
 即ち直ぐミ玉露の茶を飲んでも、更に其微妙な
 味に障りがありません。

[The following text is heavily obscured by horizontal black bars.]

京大學生

十五萬圓 舞ひ込む

記録破りの納税成績は 府廳は大よろこび

五月十一日の府廳納税の成績は、記録破りの大躍進を遂げた。納税額は十五萬圓に達した。これは前年同月の納税額に比し、約二倍に達した。府廳は大いに喜び、この成績を高く評価している。

御降誕が遅れても 御心配に及ばぬ

御胎児のため申分ない

東宮殿下も七日おくれで御誕生

東宮殿下の御降誕は、七日おくれで御誕生された。しかし、御胎児のため申分ない。御降誕は遅れても、御心配に及ばぬ。

攝政殿下も 五十錢御寄附

慶應三聖保存會に

攝政殿下も、五十錢の御寄附をなさった。これは慶應三聖保存會に寄附されたものである。

無産政黨の結黨式に 不意打の解散命令

政府横暴だと極度に昂憤して 行政訴訟を起す

無産政黨の結黨式に、政府は不意打の解散命令を出した。政府の横暴だと極度に昂憤した無産政黨は、行政訴訟を起す。



本町通りの大賣出し

赤味を帯びて

赤味を帯びて、水は赤い。これは、水が赤い色を帯びて、赤い水になることを意味する。

國境の冬の印象

山田生

國境の冬の印象は、山田生が描いた。山田生は、國境の冬の印象を、山田生が描いた。

止むを得ぬ 此の結社の實現は

國民の幸福を害す

止むを得ぬ、此の結社の實現は、國民の幸福を害す。これは、結社の實現が國民の幸福を害することを意味する。

共産主義を 實行する結社

農民労働黨結社

共産主義を實行する結社は、農民労働黨結社である。これは、農民労働黨結社が共産主義を實行することを意味する。

無産政黨の結黨式に 不意打の解散命令

政府横暴だと極度に昂憤して 行政訴訟を起す

無産政黨の結黨式に、政府は不意打の解散命令を出した。政府の横暴だと極度に昂憤した無産政黨は、行政訴訟を起す。

赤味を帯びて

赤味を帯びて、水は赤い。これは、水が赤い色を帯びて、赤い水になることを意味する。

國境の冬の印象

山田生

國境の冬の印象は、山田生が描いた。山田生は、國境の冬の印象を、山田生が描いた。

止むを得ぬ 此の結社の實現は

國民の幸福を害す

止むを得ぬ、此の結社の實現は、國民の幸福を害す。これは、結社の實現が國民の幸福を害することを意味する。

共産主義を 實行する結社

農民労働黨結社

共産主義を實行する結社は、農民労働黨結社である。これは、農民労働黨結社が共産主義を實行することを意味する。

京畿道の水害

罹災者に十萬圓 義捐金分配決定

京畿道の水害で、罹災者に十萬圓の義捐金が分配決定された。これは、京畿道の水害で、罹災者に十萬圓の義捐金が分配決定された。

同僚殺し

罰金五百五十圓

同僚殺しで、罰金五百五十圓が科せられた。これは、同僚殺しで、罰金五百五十圓が科せられた。

内小兒科

腎臓病科

内小兒科、腎臓病科。これは、内小兒科、腎臓病科の診療科目を示している。

焼栗屋の賊

捕へて見れ

焼栗屋の賊を捕へて見れ。これは、焼栗屋の賊を捕へて見れを意味する。

四社聯盟に 對抗する

日本映画プロダクション

四社聯盟に對抗する日本映画プロダクション。これは、四社聯盟に對抗する日本映画プロダクションを意味する。

丁子屋特製 オーバコウト

三十五圓より六十圓まで各種

丁子屋特製、オーバコウト。三十五圓より六十圓まで各種。これは、丁子屋特製のオーバコウトの広告である。

毛萬學生服

布套

毛萬學生服、布套。これは、毛萬學生服の布套の広告である。

記念大賣出し

十二月三日より十五日迄

記念大賣出し、十二月三日より十五日迄。これは、記念大賣出しの広告である。

製造機械

くつ下

製造機械、くつ下。これは、製造機械のくつ下の広告である。

旅館新築移轉御披露

高野旅館

旅館新築移轉御披露、高野旅館。これは、旅館新築移轉御披露の広告である。

賀川 豊

毛皮の話

高くなつても一向需要は減らずに殖える一方

仁川製菓所 豊田友次氏談

[illegible]

十億噸の石炭が
朝鮮半島にある

石炭を燃料に使へ

[illegible][illegible]

○平蝦の芻拾
材料 車蟹十匹、鹽漬香車
胡蒜油二合、玉子一個、鹽漬
一合、醬油二升、滑粉二
五、五味、の葉少量
準備 車蟹は尾を落して殻を
きき取り、こして背筋は油で
量を撒き、かつで置き、
き混ぜ、置き置き、
砂糖、味の素は一處に糺た
八方汁を作り、ます
調理 細の水気を布巾にて拭
き、玉子で包道明け、
麻油を熱して揚げ皿、大根
と共に蒸別、別に入方汁を添

[illegible]

今では變な事、不便な事、或は成北とかにある爲に、五毛の賣物の關係上、然く低價にはない。芝草の手裡から、總會地で、芝草が、相箱を懸ねた事は、争はれぬ、それでも、松根楊柳の事も、相箱相箱餘計に懸る、鶴かうり、板書を比較すると、結構、石炭場の方が経済的である」と來て、曾く「赤巻」を厭嫌した處に於いて、和服を着た、女に要する機織物は、尙ほ少し一説

開理一鉢に鹽の身推登、銀杏、玉子の漬身、醬油、味素、食鹽を混ぜ合せ、甲斐細切納豆を落籠に並べ入れ、約十分位蒸す。蒸す間に、其の間に玉子の白味、鹽梅く少量を加へて堅く泡立、鰯蓋の上に糸り付け再び蒸でざつと蒸し（長く蒸すと白く潰れます）取り出し皿に盛

[illegible][illegible]

けふのお料理

秋から冬へかけて魚介の甲殻類に鰯や蟹の味を嘗みる季節。そこで其の料理二品。

蟹の甲殻汁

材料 甲殻 五、雄雌五個、
少し、醤油五勺、玉子二個、
少し、鰹油一勺、食鹽少量、
素少量

準備 甲殻はよく新鮮な物を、
熱湯に鹽を少し入れ強火で
五分程度茹で、甲殻を剥し
落し、先きで取出し甲殻を洗

[illegible][illegible][illegible]

寒い空氣を吸ひ再發する
十年のぜんそく
五年のせききカンシに――

「南洋みやげ」
△のんで二時間で樂になり薬力
神の如しと實驗者は喜ぶ
●呼吸器病は大事を肺臓ろく膜

[illegible][illegible][illegible][illegible]

日本總發賣元
 東京市本郷區菊坂町五十六番地
 河合洋行
 振替東京四六一八二番
 電話小石川六八三五番
 京都府西町四丁目五六番
 京都府西町四丁目五六番
 手島文士
 代理店
 京師明治町二丁目公設市場前
 石川醫院
 胃腸科
 竹鶴
 電話本局一三九〇番
 三五五九番
 城京

からくとも御宵後の落着
 夫の實濃き紅や冬の
 萩葉舟早瀬を下る時雨か
 桑田いけはせかり三十三
 とくくとの鑑の澄きや 枯
 初雪や物の上のみ惜みそめ
 震るゝや和みおほせむ日の
 興拿たとむけはひや待つ程
 南天に雲の積もる夜なりけ

川崎の天才に因りて

映画「おかしな夫婦」

「へんや、おかしな夫婦してゐるのーおしえてねー」

「おかしな夫婦してゐるのー、わたしはしらういゝんせうー」

「チ、アッイヤ
睡か泣きなの
誰だわ……」
「人生の……」
「ワッちゃん
ちよんじつに
うじて……それ
誰じんぢやな
いのよ！」

「寝て寝るに當り誰かいものなどは一握食べられな
いこととなつた」

日活だより

◆地獄に落ちた赤子 主役松田の作中時代劇のニギツリで最大敵・日本海軍艦長の姿



品質本位
吟 龍



サ ス ガ
特約店
島屋
天奉

監製 平小 博士 學理
製 氏 勵 平 小 士 學 藥

載記に書明説は法用・量用・方處

藥

三ツワ家産

し開公を方處
るせ記明を客内

[illegible][illegible][illegible]

喉 疫

○ニツワ合衆錠

みづわ。ちがひぐすり

定 価 百五十個人 金銀五五通

病 痘 口

○ニツワ合衆錠

みづわ。ちがひぐすり

定 価 百五十個人 金銀五五通

熱 痘

○ニツワ合衆錠

みづわ。ちがひぐすり

定 価 百五十個人 金銀五五通

○ニツワ合衆錠

みづわ。ちがひぐすり

定 価 百五十個人 金銀五五通

11.3 (商品名) 庄産丸 (製法) 本舗石ツシ

皇統殿下

御誕生奉祝

皇統殿下は、三月二十一日午後一時、東京皇居内、皇太后御臨幸の儀に出席し、皇太子殿下の誕生を奉祝された。皇太子殿下は、三月二十一日午後一時、東京皇居内、皇太后御臨幸の儀に出席し、皇太子殿下の誕生を奉祝された。

投票開票に 二名の伏兵

各候補者色を失ふ

平壤商議戦

紙販賣店主

最高點は本

三つ巴の

會頭戦

福島氏も出馬

混亂した平壤の商議選挙



自治制度の觀察と

滿蒙自治員派遣

決定した主要事項

滿蒙地方自治員聯合會

寄航請願

明年から開設

沙里院に上水道

引用する目録

労働手帳解決

大中消防演習

失業者救済

朝鮮人を手先に

少女を誘拐

足違ひて高飛び

沙里院に上水道

引用する目録

労働手帳解決

大中消防演習

失業者救済

朝鮮人を手先に

少女を誘拐

足違ひて高飛び

沙里院の電燈

小作料を

納入せぬ

宮内省の農民

副島道正伯講演會

日時十二月六日午後二時より

場所 釜山第一小學校講堂

演題 英米より觀たる東洋の將來

後援 本社 釜山支局

釜山府、會議所、教育會主催

副島道正伯講演會

日時十二月六日午後二時より

場所 釜山第一小學校講堂

釜山府、會議所、教育會主催の副島道正伯講演會は、十二月六日午後二時より釜山第一小學校講堂で開催された。演題は「英米より觀たる東洋の將來」で、後援は本社釜山支局が務めた。

釜山府、會議所、教育會主催の副島道正伯講演會は、十二月六日午後二時より釜山第一小學校講堂で開催された。演題は「英米より觀たる東洋の將來」で、後援は本社釜山支局が務めた。

釜山府、會議所、教育會主催の副島道正伯講演會は、十二月六日午後二時より釜山第一小學校講堂で開催された。演題は「英米より觀たる東洋の將來」で、後援は本社釜山支局が務めた。

釜山府、會議所、教育會主催の副島道正伯講演會は、十二月六日午後二時より釜山第一小學校講堂で開催された。演題は「英米より觀たる東洋の將來」で、後援は本社釜山支局が務めた。

釜山府、會議所、教育會主催の副島道正伯講演會は、十二月六日午後二時より釜山第一小學校講堂で開催された。演題は「英米より觀たる東洋の將來」で、後援は本社釜山支局が務めた。

釜山府、會議所、教育會主催の副島道正伯講演會は、十二月六日午後二時より釜山第一小學校講堂で開催された。演題は「英米より觀たる東洋の將來」で、後援は本社釜山支局が務めた。

釜山府、會議所、教育會主催の副島道正伯講演會は、十二月六日午後二時より釜山第一小學校講堂で開催された。演題は「英米より觀たる東洋の將來」で、後援は本社釜山支局が務めた。

釜山府、會議所、教育會主催の副島道正伯講演會は、十二月六日午後二時より釜山第一小學校講堂で開催された。演題は「英米より觀たる東洋の將來」で、後援は本社釜山支局が務めた。

釜山府、會議所、教育會主催の副島道正伯講演會は、十二月六日午後二時より釜山第一小學校講堂で開催された。演題は「英米より觀たる東洋の將來」で、後援は本社釜山支局が務めた。

釜山府、會議所、教育會主催の副島道正伯講演會は、十二月六日午後二時より釜山第一小學校講堂で開催された。演題は「英米より觀たる東洋の將來」で、後援は本社釜山支局が務めた。

釜山府、會議所、教育會主催の副島道正伯講演會は、十二月六日午後二時より釜山第一小學校講堂で開催された。演題は「英米より觀たる東洋の將來」で、後援は本社釜山支局が務めた。

釜山府、會議所、教育會主催の副島道正伯講演會は、十二月六日午後二時より釜山第一小學校講堂で開催された。演題は「英米より觀たる東洋の將來」で、後援は本社釜山支局が務めた。

釜山府、會議所、教育會主催の副島道正伯講演會は、十二月六日午後二時より釜山第一小學校講堂で開催された。演題は「英米より觀たる東洋の將來」で、後援は本社釜山支局が務めた。

১৯৪৭

選んでこの朝は神の御に立ちあが
りか来た地としたことはない。そこ
で、神は彼等に「若の年い、龍王を
降臨し、時を寄せて吾に手懸く」とい
うが、龍王の面を得たときとて、
これがかつての龍王。恐び入り、頻りに
公を懇請する。照らんの心も憐れむとい
なした。

京口女史祝賀會

未だ手則此の中

將棋所手合 (五)
 於 東京市日本橋區淺草橋三丁目
 後手 ▲五段 野村 博 (角倉)
 先 ▲五段 小島 俊 (角倉)
 (兩は前指折りの局間)
 一 二 三 四 五 六 七 八 九
 一 二 三 四 五 六 七 八 九
 歩 氏 野 小 島 俊 ▲
 歩 氏 野 小 島 俊 ▲

四步

川柳大募集

鯛茶合併記念

開題「手紙」・「童謡」・「釘狂言」
選者 柳屋幸麿先生・横山耕田
土、大島君八郎、田端龍樹、山口
田賢二、矢印君右衛門、正岡子規、
田端美羽、久間九三、宮城野
州雄、折田見助郎、柳田泉、
矢時柳郎、田端龍樹、玉田
直本、吉本右衛門、柳川泰平、
岡本島村八郎、山口八郎、
の字、小島龍太郎、後藤風
雲、等三十回、龍泉堂發售、
二、等二十回、龍泉堂發售、
三、等十回、龍泉堂發售、
以上十冊、
會費三十錢(投句と同封)

十の備作を連れて

[illegible]

龍山出張所

△八白「觀し、事は留めざるなり、心を懸かに持て、地と内と良が吉」
 △九紫「才を能く、財を蓄ひ、財を得るが福、猪りが、能く、財を得、財と北が吉」
 △一白「觀れぬ事、手出さ、せねば大吉となる日、丙と壬、庚が吉」
 △二黒「敗され、事がある、堅く

してこの船は櫓の役に立
たが未だ試したことはない
當時設備にて名の高い石
門を叩き寄せて小手繰べ
か、隙にその道を得しむ
てこれから大坂城へ遊び
公の様子を探らんものと
にしました。

將棋新手法合

於 東京市日本橋區錦町
於 十三 曙目五
後手 ▲五段半 借助
先 △五段藏野郎 一館
(圖は前掲指しの局図)

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

川柳大募集

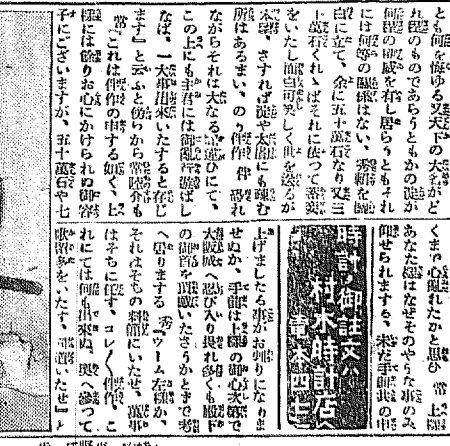
調茶合併記

陳國書 柳菴寺臨左衛門、
天、太島右八郎、川正
田數六、矢由右大臣綱重
關部美州、久岡九堂、
州族、新田彌太郎、磯田
介介勝助、關田隆興、
喜春、吉木有亮郎、菊川
岡本島石、八坂靜の人、
の字、小沢圓化、後藤
實二等三十回(勸業便登
二等十回(勸業便登
三等十回(勸業便登
以上十等迄

會費三十錢發付と同封

授所 京城留山町二ノ三
 佃茶川佃社事務所
 主 佃 佃茶川
 後援 京城日日
 京城日報社

八曰▲新しい事は面白く
九紫▲方に敵を抜き勝つ
一白▲聊れぬ事に手出さ
二黒▲欺される事がある

[illegible]